

5歳児年間指導計画

★青文字は田上の12か年教育で強調、☆赤文字はアプローチカリキュラムで強調していることを示す

年間目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と一緒に園生活を十分に楽しみ、意欲的に遊びや生活、行事に取り組み、主体的に行動して充実感を味わう。 ○ 周りの人との関わりを通して社会生活における必要な態度を身に付け、みんなで協力したり役割を分担したりしながら、目的を成し遂げる喜びを味わう。 ○ 生活の中で必要な言葉を身に付け、自分の気持ちを表現するとともに、伝わる喜びや伝え合う心地良さを味わう。 ○ 自然や身近な事象に好奇心や探究心をもち、生活に取り入れていく。 ○ 様々な体験を通して豊かな感性を育み、表現することの楽しさを味わい、意欲的、創造的に遊びや行事などに取り組む。
期	1期(4・5月)
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年長児になった喜びや期待がみられ意欲的に生活する。中には環境が変わったことで緊張感や不安感をもつ子どももいる。 ○ 基本的な生活習慣は、ほぼ身に付いているが、細かい部分では保育教諭等の言葉かけが必要なきもある。 ○ 気の合う友達と誘い合って、活発に遊ぶ姿が見られる。制作活動にじっくりと取り組む子どももいる。 ○ 戸外で春の草花や虫に触れたり遊びに取り入れたりしている。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい生活や環境に慣れ、友達との遊びや生活を楽しむ。 ○ 年長児としての自覚をもち、意欲的に活動する。 ○ 身近な動植物に興味や関心をもち、触れたり愛情をもって世話をする。 ○ 身近な自然にかかわり、美しさや季節の変化に興味をもつ。
指導内容の視点	<p>心と体・人と関わり・環境・言葉・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい環境に慣れ、年長児としての生活の仕方や習慣を身に付ける。 ○ 食事が健康に大切な役割を果たしていることを知り、マナーを守って友達と楽しく食べる。 ○ 友達と楽しく生活する中で、きまりの大切さに気付く。 ○ 危険なことが分かり、安全に気を付けて遊ぶ。 ★ 使う道具などの使い方や片付け方を知り、自らしようとする。 ○ 新入園児や異年齢児に親しみをもって関わったり、世話をしたりする。 ○ 友達を誘ったり、誘われたりしながら、興味のある遊びを一緒に楽しむ。 ○ 保育教諭等や友達と一緒にいろいろな遊びを考え、工夫して遊ぶ。 ○ 自然物を利用して遊ぶことを楽しむ。 ○ 身近な動植物に親しみやいたわりの気持ちをもって関わったり、世話をしたりする。 ○ 自分の育てたい野菜の苗を植え、植物の生長の様子に興味をもち、様々な問題を解決して世話をする。 ★ お互いに思ったことや考えたことを言ったり、相手の話を聞いたりしながら友達との遊びを楽しむ。 ★ 保育教諭等や友達の話の話を注意して聞き、内容を理解する。 ○ 自分なりのイメージを広げて、伸び伸びと表現することを楽しむ。 ○ 季節の歌を歌ったり、曲に合わせて踊ったりすることを楽しむ。
環境構成・援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちと一緒に生活の場を作り、その過程を通して年長児になった実感もてるようにする。 ○ 楽しい雰囲気の中にも、マナーを守って食べることの大切さを知らせる。 ○ 食育の日を通し、食に対する興味や関心を広げていく。 ○ 生活に必要な約束やきまりは、場面を通して具体的に知らせるようにする。 ★ 身の回りの片付けについて時々声を掛け、出来ることは自分でさせるようにする。 ○ 友達との遊びの中で、自分の気持ちを表現したり、友達の気持ちに気付いていけるように橋渡しをする。 ○ 優しさや思いやりの気持ちをもって、遊んだり世話をしたりできるように見守る。 ○ 散歩や園外保育の機会に交通の決まりを知らせ、場面に応じて危険なことに気付いていけるようにする。 ○ 安全な環境の中で伸び伸びと活動できるように、室内外の点検、整備をする。 ○ 自然物を遊びに取り入れ、楽しめる機会をもつ。 ○ 種まきや苗植えをしたり、小動物の世話を通して、春の植物や生き物に興味・関心をもちさせる。 ★ 人の話は静かに聞くことを繰り返し知らせる。 ○ 子どもが表現した物を認めたり、イメージを共有したりして自信につなげていく。 ○ 季節の歌や知っている歌をみんなで一緒に歌うなどして、リズムカルに表現できるようにする。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭の様子を聞いたり、園での姿を伝えたりしながら、一人一人の保護者との信頼関係を築いていく。 ○ 年長組になって意欲的に生活する姿を知らせ、子どもの成長に期待や見通しがもてるようにしていく。 ○ 生活リズムを整えていくことや、自立に向け認め励まし、健全な体を作っていく大切さを知らせていく。 ○ 幼小連絡会を通し小学校と子どもの様子を伝え合い、円滑な接続を図る。
行事	入園式及び進級式 たけのこ掘り 保育参観日 畑づくり 歯科検診

5歳児年間指導計画

★青文字は田上の12か年教育で強調、☆赤文字はアプローチカリキュラムで強調していることを示す

年間目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と一緒に園生活を十分に楽しみ、意欲的に遊びや生活、行事に取り組み、主体的に行動して充実感を味わう。 ○ 周りの人との関わりを通して社会生活における必要な態度を身に付け、みんなで協力したり役割を分担したりしながら、目的を成し遂げる喜びを味わう。 ○ 生活の中で必要な言葉を身に付け、自分の気持ちを表現するとともに、伝わる喜びや伝え合う心地良さを味わう。 ○ 自然や身近な事象に好奇心や探究心をもち、生活に取り入れていく。 ○ 様々な体験を通して豊かな感性を育み、表現することの楽しさを味わい、意欲的、創造的に遊びや行事などに取り組む。
期	2期(6・7・8月)
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ 梅雨や夏の生活の仕方がわかり、自分から衣服の調節や汗の始末をしている子どももいるが、保育教諭等に促されて始末をする子どももいる。 ○ 気の合う友達同士で声をかけ合ったり、イメージを出し合いながら楽しそうに遊んでいる。しかし、遊びに対する考え方の違いから意見がぶつかり合うことが多くなる。 ○ 夏ならではの遊びに興味や関心をもち、自分達で工夫したり挑戦したりしている。 ○ 自分で作った物を遊びに取り入れたり、飾ったりして遊んでいる。一方、作ることに苦手意識をもっている子どももいる。 ○ 身近な動植物への興味や関心が増し、世話をしたり、絵本や図鑑で調べたりしている。 ○ 自然事象に気付き、友達と一緒に見たり、考えたり、不思議がったりしている。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達とのつながりを深め、思いを伝え合いながら遊びを進める。 ○ 夏ならではの遊びに積極的に取り組み、満足感や達成感を味わう。 ○ 自然や身近な環境に触れ、見たり、試したり、考えたりして遊ぶ。
指導内容の視点	<p>心と体・人と関わり・環境・言葉・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分で衣服の調節をしたり、汗の始末をしたりするなど、夏の生活の仕方が身に付く。 ○ 自分の体に関心をもち、健康な生活に必要な習慣や態度、食事の大切さや生活リズムを身に付ける。 ○ 友達と一緒にルールや遊び方を考えたり、工夫したりして遊びを進める。 ○ 自分なりの目当てをもち、挑戦していこうとする。 ○ 異年齢児ができないところを手伝ってあげたり、遊びに誘ったりする姿を認め、共に生活や遊びを楽しむことができるようにする。 ○ 自分なりの目当てをもち、挑戦していこうとする。 ○ 砂、土、泥、水、などの感触を味わい、その不思議さや性質に気付きながら遊ぶ。 ○ 動植物の世話を通して、命ある物の存在に気付く。 ○ 栽培物の生長に関心をもち、収穫を楽しんだり、食べる喜びを味わったりする。 ○ いろいろな事象に関心をもち、疑問に思ったことなどを試したり考えたりする。 ★ 絵本や物語の内容に興味をもって見たり聞いたりし、想像する楽しさや言葉を豊かにする。
環境構成・援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 梅雨期や夏期を快適に過ごすための環境を整え、生活の仕方を知らせていく。 ○ 自分の健康や体に関心をもち、食べ物や運動、生活リズムの大切さに気付いていけるように働きかける。 ○ 自分達の方で遊びが進められるように、子ども同士で話し合ったり、共感し合える機会を大切にする。 ○ 失敗してもあきらめず、何度も挑戦することの大切さを知らせ、励ましたり、自信をもたせたりする。 ○ 保育教諭等に自分の気持ちを十分に受け止めてもらったり、仲立ちになってもらったりする中で、子どもが自分で気持ちの切り替えができるように援助する。 ○ 異年齢児ができないところを手伝ってあげたり、遊びに誘ったりする姿を認め、共に生活や遊びを楽しむことができるようにする。 ○ 泥や水などの性質に気付きながら、自分なりに工夫して遊んでいる姿を見守ったり、共感していく。 ○ 動植物と触れ合う機会を多くし、興味や疑問を追及したり、継続して生長を見守ったりできる環境を工夫する。 ○ 夏の自然現象に気付き、遊びに取り入れて楽しめるよう図鑑や絵本を用意しておく。 ★ いろいろな絵本や物語に触れる機会を多くつくり、言葉を豊かにし、想像の世界を広げる。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別懇談会で両小学校の朝の登校時刻を示し、家庭で「おはよう」から「いってきます」までの生活をしっかりとつくっていくように促す。 ○ 保護者が子どもの成長を感じられるように、便りや写真など子どもの楽しんでいる様子を伝えていく。 ○ 子ども同士のトラブルや親同士の人間関係などで悩む保護者の気持ちを十分に受け止めていく。同時に、困った時には園に相談できるという信頼関係を大切にしていく。
行事	<p>親子遠足 歯みがき教室 内科健診 団体鑑賞 七夕 プール開き 個別懇談会 祖父母交流会 夏まつり 一年生と交流会 キッズ健康講座</p>

5歳児年間指導計画

★青文字は田上の12か年教育で強調、☆赤文字はアプローチカリキュラムで強調していることを示す

年間目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と一緒に園生活を十分に楽しみ、意欲的に遊びや生活、行事に取り組み、主体的に行動して充実感を味わう。 ○ 周りの人との関わりを通して社会生活における必要な態度を身に付け、みんなで協力したり役割を分担したりしながら、目的を成し遂げる喜びを味わう。 ○ 生活の中で必要な言葉を身に付け、自分の気持ちを表現するとともに、伝わる喜びや伝え合う心地良さを味わう。 ○ 自然や身近な事象に好奇心や探究心をもち、生活に取り入れていく。 ○ 様々な体験を通して豊かな感性を育み、表現することの楽しさを味わい、意欲的、創造的に遊びや行事などに取り組む。
期	3期(9・10・11・12月)
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ 室内外で伸び伸びと体を動かして遊んでいる。 ○ 遊びの内容が豊かになり、友達の思いを受け入れたり考えを出し合ったりしながら、協力して遊びや活動に取り組んでいる。 ○ ルールのある遊びのおもしろさがわかり、友達と一緒に楽しんでいる。 ○ 友達と一緒に共通の目的に向かって考えたり、役割を分担するなど工夫したりして遊ぶ姿が見られる。 ○ いろいろな材料を使って、遊びに必要な物を描いたり作ったりして楽しんでいる。 ○ 知的好奇心や探求心が高まり、身の回りの出来事や自然事象に積極的に関わろうとする姿が見られる。 ☆ いろいろな遊びに意欲的に取り組んだり、勝ち負けのある遊びを理解して競い合い、喜んだり、悔しがったりしている。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 戸外で体を十分に動かし、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ○ 身近な自然や事象を見たり、接したりして、考えたり、感動したりする。 ○ 共通の目的をもち、友達と一緒に創り上げる充実感や達成感を味わう。 ☆ みんなと一緒に共通の目的をもって遊ぶ。
指導内容の視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康な体力づくりに関心をもち、好き嫌いを減らすなど健康な生活の習慣を身に付ける。 ○ 戸外で十分に体を動かす心地良さを味わい、いろいろな運動に挑戦する。 ☆ 競い合ったり応援したりして、全身を動かして遊ぶ。 ☆ 家の人や友だちに親しみをもって挨拶をする。 ○ 集団遊びの楽しさを理解し、みんなでルールをつくったり守ったりして意欲的に遊ぶ。 ○ 遊びの進め方を友達と話し合い、協力したりきまりを守ったりして遊びに取り組む。 ○ 異年齢児とのかかわりの中で、思いやりやいたわりの気持ちをもつ。 ★ 当番活動や保育教諭等の手伝いなどを喜んでおこなう。 ○ 遊びに必要な物を、適切な材料を考えて使い、工夫して作ったり遊んだりする。 ○ 身近な自然現象に興味をもち、季節や生活の変化に気付いたり、自然物を遊びに取り入れて楽しむ。 ○ 動植物に興味や関心をもち、観察したり絵本や図鑑で調べたりする。 ☆ 遊びの中で文字や数に関心をもち、理解を深めていく。 ☆ 人の話を最後まで聞き、自分の思いや感じたことを話す。 ○ 絵本や物語などに親しみ、友達と一緒にイメージを広げて遊ぶ。 ○ 音楽に親しみ、みんなと一緒に歌ったり、踊ったり、楽器を弾いたりして、音色やリズムを楽しむ。 ○ 友達と一緒に歌ったり、リズムカルに動いたり、楽器に触れたりして音楽に親しむ。
環境構成・援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ よく噛んで食べることや、身の回りを清潔にすることの大切さを知らせながら、健康的な生活の仕方を知らせていく。 ☆ 挨拶をする楽しさを感じられるにする。 ☆ いろいろな運動遊びに取り組む、頑張ったことを共に喜び、自信がもてるようにする。 ○ 自分達の力で遊びが展開できるように、子ども同士で話し合ったり、共感し合える場を大切にしていく。 ○ 興味や活動意欲の高まりを受け止めて、十分に力を発揮できるように環境を構成する。 ★ 手伝おうとする姿を認め、自信や意欲につなげる。 ○ 自分達で遊びに必要な場をつくったり、考えたり工夫したりしながら充実感がもてるようにする。 ○ 周りの自然に目が向けられるように言葉かけを工夫したり、直接的な体験ができる場や機会をつくる。 ☆ 身近にある文字や数に関心がもてるように、生活や遊びの中で実際に意図的に使う場面をつくる。 ☆ 聞くことの大切さを知らせ、伝え合う喜びを味わえるようにする。(話を聞く姿勢づくりを重視) ○ 一人一人の発想や工夫を大切に、子ども自身が主体的に表現できるように援助していく。 ○ 様々な楽器に触れながら、友達と一緒に曲に合わせて合奏することの心地良さを味わえるようにする。 ○ 保育教諭等も一緒になって歌ったり踊ったり、いろいろな楽器の音色を楽しんだりし、音楽の楽しさを共有する。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育参観の場を生かし、親子で遊ぶゲームや運動、制作など、家庭での過ごし方や触れ合い方について知らせる機会をもつ。 ○ 運動会への取組のプロセスを保護者に伝え、子どもの成長する姿を実感し、共に喜び合う。 ○ 園と家庭とで情報を交換し、一人一人の成長を通して保護者との信頼関係を深められるようにする。
行事	<p>観劇 運動会 さつまいも掘り 遠足 やきいもパーティ 就学時健診 消防署見学 保育参観日 七五三 お楽しみ会 クリスマス会</p>

5歳児年間指導計画

★青文字は田上の12か年教育で強調、☆赤文字はアプローチカリキュラムで強調していることを示す

年間目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と一緒に園生活を十分に楽しみ、意欲的に遊びや生活、行事に取り組み、主体的に行動して充実感を味わう。 ○ 周りの人との関わりを通して社会生活における必要な態度を身に付け、みんなで協力したり役割を分担したりしながら、目的を成し遂げる喜びを味わう。 ○ 生活の中で必要な言葉を身に付け、自分の気持ちを表現するとともに、伝わる喜びや伝え合う心地良さを味わう。 ○ 自然や身近な事象に好奇心や探究心をもち、生活に取り入れていく。 ○ 様々な体験を通して豊かな感性を育み、表現することの楽しさを味わい、意欲的、創造的に遊びや行事などに取り組む。
期	4期(1・2・3月)
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ 仲間意識が高まり、友達を誘い合って遊んだり同じ目的をもって生活を進めている。 ○ 遊びの見通しがつくようになり、必要な物を自分達で探したり、保育教諭等に要求している。 ○ 友達の気持ちが分かり、自分の考えや友達の意見を取り入れながら、遊びを楽しんでいる。 ○ 異年齢の友達に親しみをもって接し、一緒に遊びを楽しんでいる。 ○ 身近な文字や数への関心が増し、生活や遊びの中で使っていて楽しんでいる。 ○ 話を聞く態度がしだいに身に付き、落ち着いて聞けるようになってきている。簡単な伝言などは、忘れずに伝えられる子どもが多い。 ○ 身近な自然事象や社会事象に対する関心が強くなり、疑問をもったり、知りたがったりしている。 ○ 就学への期待を膨らませ、自覚や自信をもって意欲的に活動している。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 共通の目的に向かい、お互いを認め合ったり協力し合ったりしながら、遊びや生活を進めていく充実感を味わう。 ○ 様々な事物や事象に関心をもち、興味をもって関わったり、考えたりして、生活が豊かになっていく ○ 就学への自覚や自信をもち、意欲的に活動する。
指導内容の視点	<p>心と体・人と関わり・環境・言葉・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 冬を健康に過ごすために、手洗いやうがいの習慣を身に付ける。 ○ 寒さに負けず、十分に体を動かし、いろいろな運動遊びや昔遊び、伝統的な正月遊びを楽しむ。 ☆ 自分から進んで挨拶をする。 ○ 友達と相談したり、考えを出し合ったりしながら遊びを進めていく。 ○ 友達とのかかわりの中で自分を発揮し活動する充実感を味わう。 ○ 就学への喜びや期待を膨らませ、自覚をもって行動する。 ○ 生活を共にしてきた友達や異年齢児や身近な人々と大きくなった喜びを味わい、感謝の気持ちをもつ。 ○ 冬の身近な事象に関心をもち、それを取り入れて遊んだり、動植物の様子から春の訪れに気付いたりする。 ○ 数量や文字に関心をもち、遊びに取り入れて楽しむ。 ★ 生活してきた保育室の清掃や身の回りの整理整頓をする。 ☆ 時計(時間)や1日の予定を見ながら、見通しをもって生活する。 ☆ 自分の思いや感じたことを、みんなに分かるように話す。 ★ 絵本や童話により親しみ、言葉のおもしろさが分かる。 ○ 友達と一緒に思い出の曲や卒園の歌を歌うことを楽しむ。 ○ 材料や用具を目的に合わせて選び、伸び伸びと表現し、作品を大切に使うと共に友達の表現にも関心をもち。
環境構成・援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と一緒に積極的に体を動かして遊べるように、いろいろな活動を提供していく。 ☆ 機会を捉えて認めたり励ましたりしながら、挨拶を交わす心地良さや大切さを伝える。 ○ 良いこと、悪いことがしっくり理解できるように、話し合いの場を大切にする。 ○ 友達の意見を聞いたり、自分の思いを伝えたりしている過程を大切にする。 ★ 一人一人の成長を認め、友達とのかかわりの中で自己発揮して遊べるようにし、自信につながるように援助する。 ○ 冬の自然に触れ合える機会を大切にし、試したり発見したり考えたりする楽しさを十分に味わえるようにする。 ○ 数量や文字などへの関心が高まるように、いつでも見たり使ったりできる環境を整えておく。 ○ 次に使う子ども達が気持ちよく過ごせるように、心を込めて清掃や整理整頓を行うように言葉かけをする。 ☆ 時計の数字を示しながら、活動の始まりや終わりの時間を伝える。1日の予定を掲示する。 ☆ 自分の思いや感じたことを伝え合う機会を増やし、場に応じた声の大きさや言葉の使い方を知らせる。話を聞く姿勢づくりを重視する。 ○ 子どもの成長を具体的に認め、共に喜び、自信と見通しをもって卒園を迎えられるようにする。 ○ イメージを広げて制作活動ができるように、いろいろな材料を使いやすいように準備したり、素材を生かして工夫したところを認め、周りの子どもに伝える。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校体験入学の参加など、交流の機会が5歳児にふさわしい活動として、入学への期待につながるよう小学校と連携する。 ○ 小学校教諭と子どもの姿を共有するなど連携を図り、円滑な接続を図るよう努める。 ○ 初めて就学を迎える保護者の不安が少なくなるよう、小学校と連携し、交流の様子を保護者に知らせる機会をもつ。 ○ 子ども自身に伝達する力が生まれ、生活に必要なものを自分で用意することができるように園と家庭が協力する。
行事	豆まき会 体験入学 ひなまつり会 小学校の先生の出前授業 おわかれ会 卒園式